

滋 賀 バ イ オ フ ロ ジ ェ ク ト 創 出 サ ロ ン

# 滋賀県農業の 成長の可能性を探る

研究者と企業が気軽に意見交換をすすめ、技術シーズとマーケットニーズを結びつけて、新しいビジネスにつながるバイオプロジェクトを立ち上げるきっかけづくりがこの「滋賀バイオプロジェクト創出サロン」です。

研究者や企業のシーズ・ニーズ、事業の方向性などについて発表いただき、気軽な雰囲気での質疑応答を通じて、プロジェクト創出を目指します。

今回は滋賀県農業の成長の可能性をテーマに、滋賀県農業の現状や課題、今後の成長の可能性といった視点から、研究者からお話いただきます。興味のある参加者とはプロジェクトとして継続的に勉強会の実施などを行っていきます。ご興味のある方は是非ご参加ください。

## 3.28 (火)

日程 2017年3月28日(火)

時間 14:00~16:00  
(開場13時30~)

会場 長浜バイオ大学  
命江館2Fセミナー室

会費 **無料**



衰退した養蚕業の新たな6次化への  
取り組みから農業ビジネス創出を探る

**講師：寺本 憲之 氏**

(農学博士 滋賀県立大学 環境科学部 客員研究員 / 琵琶湖博物館 研究部 特別研究員)

主催 滋賀バイオ産業推進機構

協力 一般社団法人バイオビジネス創出研究会

滋 賀 バ イ オ フ ロ ジ エ ク ト 創 出 サ ロ ン

# 滋賀県農業の 成長の可能性を探る

# 3.28(火)

講演要旨

## 「 衰退した養蚕業の新たな6次化への 取り組みから農業ビジネス創出を探る 」

滋賀県では、昭和初期の養蚕農家戸数は現在の農業販売戸数を上回る3万戸以上も存在し、蚕糸業が淡海の人々の暮らしを支えていた。しかし、その後の社会状況の変化や安価なシルクの輸入などにより、衰退の一途をたどり、ついには養蚕農家戸数はゼロになってしまった。ところが、国産繭原料が入手し難くなると、国産繭にこだわった高級製品が求められるようになり、新たな桑園を設けて邦楽器糸や真綿生産の原料となる繭生産が再開したり、桑葉の機能性を利用した桑葉販売が行われたりして、生産から

製造、流通までが一貫した6次産業が始まっている。県外では技術革新によって夜間に光るシルク生産やカイコを利用した漢方薬生産、インターフェロン生産、インフルエンザワクチン生産、絹タンパク質を利用した化粧品・人工皮膚などの生産などの攻める近代的養蚕業が始まりつつある。「養蚕業はなぜ衰退したのか、また衰退した養蚕業がなぜ新たな6次化による養蚕業ビジネスが創出されようとしているか」を事例にして、米価が低迷するなかの滋賀県農業の新たなビジネス創出の可能性を探る。

問い合わせ・申込み先

一般社団法人バイオビジネス創出研究会

〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8 長浜バイオインキュベーションセンター内  
TEL.0749-65-8808 Mail:info@biobiz.jp http://biobiz.jp/

**FAX.0749-65-8858** でお申込みください

### 【 参加申込書 】

ふりなが 名 前	所属名 役 職	
ふりなが 名 前	所属名 役 職	
ふりなが 名 前	所属名 役 職	
ふりなが 名 前	所属名 役 職	
団 体 名		
住 所 ( 〒            -            )		
TEL	FAX	E-mail

※ご記入いただいた個人情報は、当日イベントの参加の確認、主催者からの各種催し物のご案内など情報の提供や催し物等に参加いただいた方の調査分析にのみ使用いたします。